

ローカルな家

日本大学全国高等学校・建築設計競技審査会
審査員長 滑田崇志

■視点

あたらしい「ローカルの家」とは、単に風土を反映した家というだけではなく、社会構造が変わっていく中で、地域の現実をみつめ、土地、エリアの力を捉え直し、その地域で生活することの魅力をつくり出す家です。以下の3つのポイントに注目しながら、あたらしい「ローカルの家」を提案してください。

1) その場所に住む価値を考える

人口減少時代において、中山間地の価値とは何でしょうか。シャッター通りの商店街の魅力とはなんでしょうか。多くの人が、魅力がないと感じているところも、見方を変えて住まいをつくることでエリアとして価値が出て来ます。非効率であることが新たな価値を生む場合もあります。

その場所の価値を再編集し、コミュニティの魅力やその場所ならではの体験を住まいに取り入れ、その住まいが地域を変えていく可能性があるかを考えてみてください。

2) 土地・ランドスケープから読み取った空間の力を活かす

次に、どのように魅力的な空間をつくっていくのかというこ

とを考えましょう。

都市や集落の骨格、ランドスケープ、地域特有の材料を読み取り、その場所が持つ空間的な魅力を探してみてください。

その上で、どんな開口部を開けるか、どんな屋根をかけるか、まちの景色がみえる屋上への階段があったり……。土地・ランドスケープの可能性を読み取り、空間の力を活かす方法を考えましょう。

3) よい建築であること

「よい建築」とは何でしょうか。それは優れたデザインとコンセプトを統合し、より大きな価値を生み出すものです。コンセプト→デザインとの一方通行のスタディではなく、両者を何度も往復することでいいものが生まれます。そのためには、一度デザインしたものを振り返り、スタディを重ねる必要があります。このプロセスの中で、あなた自身が「よい建築」と感じる提案を目指してください。そして多くの人にメッセージとして訴えられる「よい建築」を届けてください。



滑田崇志（なめだ・たかし）
建築家

徳島県生まれ

2002年 東北大学工学部建築学科卒業

2005年 東北大学大学院修士課程修了

2006年 はりゅうウッドスタジオを株式会社化

（芳賀沼盛と共同）

以降 代表取締役

日本大学大学院工学研究科建築学専攻

非常勤講師

主な作品

きとね みなみあいづ森と木の情報・活動ステーション（森の町とPavilion）、認定こども園らみどり、SMART Wellness Town
PEP MOTOMACHI、島尾村復興交流館あぜりあ、はりゅうの箱、希望ヶ丘プロジェクト、大師堂住宅団地 など

主な受賞

グッドデザイン賞金賞ほか
日本建築学会作品選奨
SDレビュー入選 桐賞
東北建築賞作品賞
JIA東北住宅大賞
福島県建築文化賞正賞 など

主な著書

「木造仮設住宅群」
「縦ログ構法の世界」 など

日本大学全国高等学校・建築設計競技委員会
委員長 廣田篤彦

■ごあいさつ

日本大学では、建築系の学科がある4学部（理工学部、生産工学部、工学部、短期大学部）6学科の共通事業として、毎年、日本大学全国高等学校・建築設計競技を実施してまいりました。

本設計競技は、昭和28年に第1回全国工業高等学校設計競技として発足し、今年で第72回を迎えることができました。これもひとえに、ご参加いただいた高等学校、高等専門学校の生徒の皆様並びにご指導いただいた先生方によるご努力の賜物であると考えております。心より感謝申し上げます。

また、日本大学といたしましても、本建築設計競技が高等学校における建築教育に微力ながらお役に立っているとするならば幸甚に存じます。

本設計競技の第50回までは工業高等学校の生徒の皆様を対象に実施してまいりました。この実績を基盤として、第51回からは建築系生徒の育成という役割と同時に、専門分野を超えて広く暮らし・住まいに関心のある若い世代への参加を促すとともに、第60回からは高等専門学校に在籍する3年次生にも門戸を開き、建築・都市・まちづくりから暮らしづくりへと志向するより多くの皆様に参加を呼びかけております。

本年度は、現代における「地域の良さ」とは何かを捉え直すという視点から、「ローカルの家」の提案を募集いたします。その場所に住む価値や土地の魅力を捉え直した新しい形の家とはどのようなものなのか、皆さんとともに考えたいと思います。高等学校、高等専門学校の先生方におかれましては、意欲と熱意のある生徒の皆様がご参加、ご応募くださいますよう、ご指導の程宜しくお願い申し上げます。

日本大学 理工学部建築学科

理工学部海洋建築工学科

理工学部まちづくり工学科

生産工学部建築工学科

工学部建築学科（幹事校）

短期大学部建築・生活デザイン学科

連絡先

〒101-8308

東京都千代田区神田駿河台1-8-14

日本大学理工学部建築学科教室内

日本大学全国高等学校・建築設計競技会事務局

E-mail：cst.arch.nu.hs.competition@nihon-u.ac.jp FAX：03-3293-8253

担当：佐藤慎也・泉山壘威・小島陽子・二瓶士門・阿久戸信宏・大川碧望

公式SNS

Facebook：https://www.facebook.com/nu.hs.competition

Instagram：https://www.instagram.com/nu.hs.competition/